



緑っ子だより

校訓／教育目標
かしく やさしく たくましく

豊かな心とたくましさを持ち
夢に向かって伸びる緑っ子の育成

宇土市立緑川小学校

N013 令和元年11月22日

文責 田原 里恵

11月は、校内人権月間です。



毎年11月を校内人権月間として、人権学習や友だちのいいところさがし等の様々な取組を、授業や日常活動で取り組んでいます。今年度のテーマを「やさしい言葉を使って笑顔あふれる楽しい学校にしよう」と運営委員会の子どもたちが考え、児童集会で発表しました。また、集会では、「ふわふわ言葉」について考えました。「ふわふわ言葉」とは、その言葉を言われて、

心が温かくなる、嬉しい気持ちになる言葉のことです。この児童集会を機に、校内のあちこちで友だちのことを互いに思う優しい言葉遣い、優しい声かけができる子どもたちが増えてくれたらいいと思います。12月には、各学級で学んだことなどを発表し合う人権集会も計画されています。

学んだことが知識として終わるのではなく、日頃の行動に表れるように高めていきたいと思えます。そのためにも、子どもたちだけでなく、周りの大人の「人権感覚」を磨くことが必要です。「人権感覚」というと難しいように思いますが、「人権感覚」とはどのようなものをわかりやすく表現した詩があります。桑原 律さんが書かれた詩、「人権感覚って何ですか」です。ぜひ親子で読んでいただき子どもさんに一言声かけをお願いします。

人権感覚って何ですか

「人権感覚」って何ですか

それはケガをして苦しんでいる

人があれば

そのままですおりしないで

「大丈夫ですか」と

助け励ます心のこと

「人権感覚」って何ですか

それは悲しみにうち沈んでいる

人があれば

見て見ぬふりをしないで

「一緒に考えましょう」と

共に語らう心のこと

「人権感覚」って何ですか

それは偏見と差別に思い悩んで

いる人があれば

わが事のように感じて

「そんな事は許せない」と

自らすすんで行動する心のこと

「人権感覚」って何ですか

それはすどおりしない心

見て見ぬふりをしない心

他者の苦悩をわが苦悩として

人間尊重のために

行動する心のこと

詩集「光は風のなかに」

(桑原 律)より

いもほりが楽しみです。

予定されていたいもほりがあいにくの天気だったため延びています。10月上旬に順調に育っていたいも畑にイノシシが現れたようでした。(見てはいませんが・・・)少し畝を荒らされた形跡がありました。そこで急遽、写真のような柵を設置していただきました。そして、先日、いもほりの準備でマルチをはがしたり、ツルを切ったりしていただきました。収穫が楽しみです。



火事に気をつけて！

先日、避難訓練を行い、宇城消防署からも指導にいただきました。宇城署管内では、去年は年間39件だった火災が、すでに40件発生しているという話がありました。これから寒さも増し、火を使うことが多くなります。火事を起こさないように気をつけていきたいですね。

